

1. 執筆資格者は、原則として大阪市立大学都市文化研究センター研究員、同大学大学院文学研究科の専任教員、客員教授、特任教員ならびに非常勤講師とする。なお、指導教員の推薦を受けた文学研究科大学院生の執筆を受け付けることがある。その際には、推薦状を添えなければならない。また、都市文化研究センターの研究成果として発表することが適当である場合、客員教授・客員准教授・客員研究員の執筆を認めることがある。
2. 投稿原稿は、学術に関する未公開の研究論文、研究報告（研究ノート、研究資料を含む）、シンポジウム、特別寄稿、翻訳、研究展望、書評、学会レポートとする。
3. 原稿（本文・注）は日本語・英語・中国語のいずれかとする。① Word 形式か一太郎形式の印刷された原稿と、② MS-DOS テキスト・ファイル形式の電子ファイルで提出する。
表、図、写真などはそのまま写真製版できるものとし、1 件ごとに別紙とする。電子ファイルも同時に提出することが望ましい。なお、それぞれの挿入位置を印刷された原稿中に明記する。
4. 原稿の分量は以下の通りとする。外国語原稿の場合も和文に相当する分量とする。
 - (1) 研究論文・研究報告・特別寄稿及び翻訳：
400 字換算で 60 枚（本文・注・図表等をふくめて、本誌の体裁で 10～14 頁）
 - ① 日本語論文の場合は、和文タイトル・英文タイトル、和文要旨・英文要旨、和文キーワード（5 語）・英文キーワード（5 語）をつける。和文要旨は 600～800 字程度、英文要旨は 300～400 語程度とする。
 - ② 英語論文の場合は、英文タイトル・和文タイトル、英文要旨・和文要旨、英文キーワード（5 語）・和文キーワード（5 語）をつける。英文要旨は 300～400 語程度、和文要旨は 600～800 字程度とする。
 - ③ 中国語論文の場合は、中文タイトル・英文タイトル・和文タイトル、中文要旨・和文要旨、中文キーワード（5 語）・和文キーワード（5 語）をつける。中文要旨は 300～400 字程度、和文要旨は 600～800 字程度とする。
 - (2) 研究展望：400 字換算で 30 枚（本文・注・図表等をふくめて、本誌の体裁で 5～7 頁）
 - (3) 書評、学会レポート：400 字換算で 10 枚（本文・注・図表等をふくめて、本誌の体裁 1～2 頁）
5. 投稿された原稿については、編集委員、ないしは編集委員から付託をうけた者が査読をおこなう。その結果、書き直しを求めること、不採用となることもある。
6. 査読を受ける原稿については、印刷された原稿として正本 1 部と副本 2 部の計 3 部を同時に提出する。原稿は、本文、注、図表等を編集し、刷り上がりイメージがわかる形式で提出する。また副本は査読に使用するので、執筆者名を記さない。
7. 執筆者は、完成原稿を別途定める締切日までに、『都市文化研究』編集委員会（大阪市立大学文学部棟 1F 都市文化研究センター事務局内）まで持参して提出することを原則とする。
8. 執筆者が校正段階で大幅な加筆、修正することは認めない。誤字訂正、印刷上のミス訂正にとどめる。
9. 研究論文・研究報告・特別寄稿及び翻訳の執筆者には、本誌 2 冊と抜刷 30 部を進呈する。

次号(第12号)投稿エントリー締め切り：2009年7月9日(木)

エントリー先：ucrc_office@lit.osaka-cu.ac.jp

原稿締め切り：2009年9月15日(火)

編集後記

ここに『都市文化研究』第11号をお届けいたします。本誌は文学研究科21世紀COE事業の一環として発刊され、それより刊行を続けて参りましたが、事業の完了に伴って、昨年度（第10号）は掲載内容や本文レイアウトについて若干の見直しを行い、新たなスタートを切りました。今号は新体制での第2号ということになります。

今号では、「論文」4編、「研究ノート」1編、「研究展望」2編、「特別寄稿」1編、「書評」2編、及び「海外レポート」1編を掲載することになりました。都市文化研究という分野の広がりや、既成の研究分野で言えば、歴史学、社会学、教育学、文学等に分類されるような、あるいはそれらを横断するような、幅広い内容の論考が集まっております。様々なご専門の方々からご批評、ご助言を頂戴することが、本誌を更に充実したものにしていく上で不可欠のことと存じますので、読者の皆様におかれましては、どうぞ忌憚のないご意見をお寄せ下さいますようお願いいたします。

なお表紙の写真はルクセンブルクの街角の風景を切り取ったもので、「我々はいまあるままでありたい」とルクセンブルク語で書かれています。本号収録論文と関連する写真を提供して下さった木戸紗織さんに感謝いたします。

今後とも『都市文化研究』にご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

（平田茂樹・編集委員長／海老根剛・第11号編集主任／久堀裕朗・第11号編集主任）

編集委員

平田 茂樹・編集委員長（大阪市立大学大学院文学研究科准教授、UCRC 常任研究員、東洋史学）

海老根 剛・第11号編集主任（大阪市立大学大学院文学研究科准教授、表現文化学）

久堀 裕朗・第11号編集主任（大阪市立大学大学院文学研究科准教授、UCRC 常任研究員、国語国文学）

池上 知子（大阪市立大学大学院文学研究科教授、心理学）

多和田 裕司（大阪市立大学大学院文学研究科教授、UCRC 常任研究員、アジア都市文化学）

仲原 孝（大阪市立大学大学院文学研究科教授、哲学）

仁木 宏（大阪市立大学大学院文学研究科准教授、UCRC 常任研究員、日本史学）

- 田原 憲 和 (大阪市立大学大学院文学研究科・UCRC 研究員, 大阪市立大学非常勤講師)
伊崎 文 彦 (大阪市立大学大学院文学研究科・UCRC 研究員, 阪南大学非常勤講師)
室山 留美子 (大阪市立大学大学院文学研究科・UCRC 研究員)
穴澤 彰 子 (大阪市立大学大学院文学研究科・UCRC 研究員, 大阪市立大学非常勤講師)
廣瀬 真 琴 (藍野大学医療保健学部看護学科・講師)
杉山 和 明 (大阪市立大学都市研究プラザ・G-COE 特別研究員)
木戸 紗 織 (大阪市立大学大学院文学研究科・大学院学生)
足立 匡 敏 (大阪市立大学大学院文学研究科・大学院学生, UCRC 研究員)
根来 麻 子 (大阪市立大学大学院文学研究科・大学院学生)
古野 貢 (大阪市立大学大学院文学研究科・UCRC 研究員, 大阪市立大学・武庫川女子大学非常勤講師)
胡 勁 茵 (中山大学歴史系・博士研究生)
石田 佐恵子 (大阪市立大学大学院文学研究科・教授)
岩谷 洋 史 (大学共同利用機関法人人間文化研究機構総合地球環境学研究所・プロジェクト研究員)
荒木 映 子 (大阪市立大学大学院文学研究科・教授)
新井 一 寛 (京都大学アジア・アフリカ地域研究研究科・研究員)
村上 ゆ り (大阪市立大学大学院文学研究科・UCRC 研究員, 大阪府立大学非常勤講師)
王 標 (大阪市立大学大学院文学研究科・UCRC 研究員, 大阪市立大学非常勤講師)
竹本 晃 (大阪市立大学大学院文学研究科・UCRC 研究員, 万葉古代学研究所・主任研究員)
広瀬 美千代 (大阪市立大学大学院文学研究科・UCRC 研究員, 大阪市立大学非常勤講師)
松田 いらあ (大阪市立大学大学院文学研究科・UCRC 研究員, 大阪樟蔭女子大学・佛教大学非常勤講師)
川口 夏 希 (大阪市立大学大学院文学研究科・UCRC 研究員)
柴田 剛 (大阪市立大学大学院文学研究科・大学院学生, UCRC 研究員)
山崎 竜 洋 (大阪市立大学大学院文学研究科・UCRC 研究員)
白井 順 (大阪市立大学大学院文学研究科・UCRC 研究員, 近畿大学・関西学院大学非常勤講師)
中嶋 晋 平 (大阪市立大学大学院文学研究科・大学院学生, UCRC 研究員)

『都市文化研究』第11号

- 印刷・発行日／2009年2月27日印刷, 3月10日発行
■編集責任／平田茂樹 (『都市文化研究』編集委員会委員長)
■デザイン／In-visible
〒592-0003 大阪府高石市東羽衣2-13-45
goma@in-visible.net
■発行／◎大阪市立大学大学院文学研究科 都市文化研究センター
〒558-5858 大阪市住吉区杉本3-3-138
電話&FAX 06-6605-3114
ucrc_office@lit.osaka-cu.ac.jp
http://www.lit.osaka-cu.ac.jp/UCRC/
■印刷／螢印刷株式会社
〒550-0013 大阪市西区新町2丁目4番地2号なにお筋SIAビル9階
電話 06-6537-1900 FAX 06-6537-3200